

令和4年度 第13回板倉区地域協議会 次第

日時：令和5年1月20日(金)
午後6時～

場所：板倉コミュニティプラザ
201・202会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 所長あいさつ

4 報告事項

- ・意見書に対する回答について

5 協議事項

- ・地域活動支援事業報告会について

- ・自主的審議の進め方について

6 その他

7 閉 会



上板総第 41372 号
令和 4 年 12 月 23 日

板倉区地域協議会
会長 平井 達夫 様

上越市長 中川 幹太
(用地管財課)
(板倉区総合事務所)



旧筒方小学校の漏水修繕に関する意見書について (回答)

令和 4 年 12 月 2 日付けで提出のありました意見書につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

市では、中山間地域の豊かな自然と景観、様々な公益機能を有する里山は、安全・安心なまちづくりに欠かすことができない重要な資源と捉えています。

そのような地域に所在し、平成 16 年 3 月に閉校した筒方小学校は、「筒方地区地域資源加工施設」として生まれ変わり、地域の皆さんが特産品加工や「ふきんとまつり」「そばまつり」などの体験交流イベントを主催するとともに、日頃は、地域課題の解決に向けて話し合う「地域の拠点」として活用されています。

こうした取組は、地域活性化や持続可能なコミュニティの構築につながるものと考えており、地域の皆さんが熱意をもって主体的に取り組まれる活動につきまして、引き続き支援したいと考えています。

同施設につきましては、現在の利活用形態を踏まえ、適切な維持管理に努めていきます。



板倉区総合事務所
総務・地域振興グループ

令和 4 年度地域活動支援事業報告会について（案）

- 1 開催日時 令和 5 年 3 月 3 日（金） 午後 6 時 30 分～
- 2 開催場所 板倉コミュニティプラザ 3 階 市民ホール
- 3 主 催 板倉区地域協議会

4 開催内容

| 時間配分 | 次 第 | 役 割 |
|------------------|---|---------|
| 18:30 | 1 開会 | 進行：米川次長 |
| 18:30～ (2 分) | 2 会長あいさつ | 平井会長 |
| 18:32～ (65 分) | 3 令和 4 年度地域活動支援事業の報告 ・ 1 団体：発表 3 分、質疑応答 2 分、入替 1 分 (6 分×10 団体) ・ 冒頭に進行方法の説明約 1 分 | 進行：平井会長 |
| 19:37～ (2 分) | 4 閉会のあいさつ | 古川副会長 |
| 19:39 | 5 閉会 | 進行：米川次長 |

- 5 対 象 者
- ・ 報告は令和 4 年度地域活動支援事業の実施団体（10 団体）
 - ・ 板倉区内に在住の市民
- 6 周知方法
- ・ 総合事務所だより 2/25 号
 - ・ 令和 4 年度地域活動支援事業の実施団体代表者に案内送付
 - ・ 防災行政無線

自主的審議事項「板倉区の未来を拓く観光について」

(概要)

板倉区には光ヶ原高原や、やすらぎ荘のほか、名所旧跡など様々な地域資源がある。各種団体が連携し、交流人口を拡大させるためにはどうしたらよいか審議する。

(今までの取組…関連するもの)

- ・令和4年9月9日 第9回地域協議会終了後、勉強会開催
（一財）ゑしんの里観光公社、NPO 法人板倉まちづくり振興会、いたくら夢創會の今後の取組の方向性などの説明をお聞きした。
- ・令和4年9月29日 第10回地域協議会
板倉区の観光について、委員各自の考えを意見交換した。
- ・令和4年10月21日 板倉区内の地域の宝を視察（宮島、田井など）
- ・令和4年11月11日 第11回地域協議会
「地域活性化の方向性」を作成した。



(1) これまでの話し合いのまとめ

① 板倉区にとって観光とは

目 標

- ・特別に大規模な観光開発を伴うものではなく、今ある地域資源（歴史、文化、自然）を活かして、市内外からの来訪者にもてなし、楽しんでもらうもの

要 素

- ・日常から離れて、歴史や文化に触れたり、里山の風景を楽しんだり、美味しいものや、買い物をすることで、心身のリフレッシュができる。
- ・交流人口の拡大を促進することで、地域に賑わいをもたらし、地元の商店に立ち寄る人が増え、活性化につながる。

目 的

- ・住民自らが板倉区の魅力を再発見し、情報発信することで、ふるさとに愛着や誇りを持つことができる。

② 課題及び課題解決のための方策など（主な意見）

組 織

- ・観光公社が中心となって、どう進めていくか。推進の旗振り役が大事。

- ・組織の一本化の検討（ゑしんの里観光公社、板倉まちづくり振興会）
- ・各種団体と定期的な情報交換
- ・隣接地域との連携

具体策

- ・写真映えする情報発信を積極的に行う。
- ・観光スポットを一か所でなく複数回ってもらえるようにする。
- ・単発のイベントではなく通年で考える。
- ・寺野と筒方が連携して、蕎麦の花を見たり、蕎麦を食べてもらう。
- ・針の中心街でマルシェを開く。
- ・ゑしんの里記念館で開かれたフリーマーケットをもっと盛大に行う。
- ・やすらぎ荘でキャンプができるようにする。
- ・光ヶ原高原へ向かう自転車レースを開催する。
- ・板倉を再発見する体験ツアーを実施する。

(2) 今後の進め方（案）

- ①小グループによる協議 … 部会ごとに集まって話し合い（2/10 ごろまで）
【話し合いのテーマ】「板倉区の未来を拓く観光について」の課題及び課題解決のための方策について
- ②全体会 … 各部会から出た意見の発表（2/16 地域協議会開催予定）
※地域協議会としての考えをまとめるため、複数回開催
- ③ゑしんの里観光公社、板倉まちづくり振興会、いたくら夢創會ほか地域団体との意見交換（時期未定） 等

参 考

■板倉区の地域活性化の方向性

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

- ・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
- ・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
- ・美しい景観や里山風景を守る
- ・子どもたちに板倉を愛する心を育てる
- ・冬期間の安心安全な暮らしの推進
- ・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり